

# 第3回 教育改善交流i \* See2006 シンポジウム・ワークショップ参加報告

首都大学東京 都市教養学部理工学系生命科学コース1年生  
富永 真規子

平成18年9月9日、岡山大学(岡山大学学生・教職員教育改善委員会)主催の「第3回教育改善学生交流i \* See2006シンポジウム・ワークショップ」が岡山大学で開催された。首都大学東京からは教務課の中尾さん、FD委員会から山田先生と西川先生、学生から山崎君と私の計5名で参加した。ワークショップの参加報告は以下の通りである。

ワークショップは9月9日の午前10時から6時まで、丸一日かけて行われた。

午前の部はプレゼンテーションが行われた。プレゼンテーションを行った大学は、横浜国立大学、立命館大学、大阪大学、和歌山大学、愛媛大学、長崎大学の計6大学による。このプレゼンテーションは、授業改善に関する活動報告であり、午後のディスカッションのテーマになるものであった。各大学から1名ずつ、代表者が10分でそれぞれの大学の報告をするプレゼンテーションが行われた。各大学のプレゼンテーションの内容は次の通りである。

## 発表内容

- 横浜国立大学；学生が企画・運営する授業実践  
ラベルトーク、ラベルワークを取り入れた授業から学生が輝く授業にするためには。
- 立命館大学；先輩学生と後輩学生による学生相互の学び合い  
学生スタッフの経験と更なる向上に向けて。
- 大阪大学；京大阪大合同イベントの挑戦  
2005・2006年に行われた合同イベントからみえること。
- 和歌山大学；学生参加型授業参観プロジェクト  
和歌山大学のプロジェクトにおける教員と学生の姿勢及び今後の発展について。
- 愛媛大学；SCV (Student Campus Volunteer) とは何か？  
SCVの具体的活動からその成果について。
- 長崎大学；LTの人生～長崎大学における 学生参画活動～  
LTの過去、現在、未来について。

全てのプレゼンテーションを聞き終えた後に、各自ディスカッションを行いたいテーマを選び、その希望で小グループ

にわかれ、ディスカッションを行った。

なお、この小グループは岡山大学の学生が参加者の希望を元に、1グループが4、5人程度になるように任意に構成した。この構成を参加者が待っている間に、交流タイムが設けられていた。

交流タイム後、小グループが発表され、小グループのディスカッションに移った。私は愛媛大学の小グループに決まった。そのため、午後の部の報告は私の所属した、愛媛大学のテーマについての話し合いの報告が主になる。

私の小グループにはとある大学の教授が2名と岡山大学の学生(リーダー)と私の計4名だった。私の小グループのメンバーの中には教育改善を行っている大学からの参加者は、リーダーの岡山大学の学生以外にはいなかった。そのため、愛媛大学の行っているSCV(Student Campus Volunteer)のような取り組みはいかにすれば立ち上げられるかということから話し合いを始めた。学生の側から自主的に立ち上げるのか、もしくは大学側が募集を募るのか。愛媛大学は学生が立ち上げたらしく、一方、岡山大学では大学側が始めたらしい。学生と教員、相互の関係をいかに結ぶか、また、いかに活動を続けていくかが活動団体を発足する上で重要なことではないかという考えが出た。

小グループでの約1時間半の話し合いの後、愛媛大学のテーマについてディスカッションをしていた他の小グループと合わさり、大グループとしてのディスカッションを約2時間行った。大グループにおいて、活動団体の立ち上げから継続の方法について話し合った。ディスカッションのまとめは以下の通りである。

- ◆ 立ち上げ
  - ・大学側が企画立ち上げをする
  - ・参加学生を募集し、企画呼びかけを行う
  - ・支援体制を充実させる
- ◆ 人員集め
  - ・入り口として、エンターテイメント性を重視する
  - ・話し合える場所を作る
- ◆ 継続
  - ・活動分野を分ける
  - ・やりがいや魅力を問う(アンケート、様々な出会い、

きっかけ作り)

- ・学生に教員が手を差し伸べる
- ・大学の個性をいかす

大学側は学生が立ち上がれるようなきっかけを与え、その後も活動の援助をしていくことが必要とされる。

大グループでのディスカッション終了後、また全体で

集まり、それぞれのグループのディスカッションの報告が行われた。

このシンポジウムに参加したことで、他の大学での活動を知ることができた。首都大学東京でもFD委員会が発足しているが、学生自身も自分たちが学ぶ場をよりよいものにしていくために力を注ぐべきだと感じた。

学生力 $\subseteq$ 教育改善

## 第3回 教育改善学生交流 シンポジウム・ワークショップ

i\*See2006

進化の時。  
変えるのは、  
あなたです!!

日時 平成18年9月9日(土) 10:00～

場所 岡山大学創立五十周年記念館 他

参加費 無料

主催 岡山大学教育開発センター

平成17年度文部科学省  
特色GP採択

学生・教職員教育改善委員会

詳細 <http://cfd.cc.okayama-u.ac.jp/stfd/wg/iSee2006>

E-mail :stfd@cfd.cc.okayama-u.ac.jp